

日時：令和7年11月5日（水）

午後3時～4時30分

会場：小山高等学校 第一応接室

## 1 開会（校長挨拶）

- ・学校再編の状況（地域協議会での方向性）。

4校を2校に再編整備。御殿場南高校跡地に大規模単位制高校を設置し、小山高校は形を維持しながら「多様な学びを提供する学校」として、全日制・定時制・特支分校が連携する仕組みを構築。

- ・生徒数の減少が進む中で、地域と連携しより魅力的な学校づくりを推進していく。

## 2 総合的な探究の時間見学 1・2年生合同授業

- ・SDGsの目標や社会課題の解決に取り組む劇の準備。縦割りの合同学習による、生徒の発信力やコミュニケーション能力の向上を目的としている。

## 3 学校の近況報告

### (1) 分校

教育活動（キャリア教育を重視した作業学習）、地域との交流活動、共生教育の環境、卒業後の進路支援

### (2) 定時制

生徒の特徴（多様な生徒構成）少人数指導、検定取得の推進、進路指導、学校行事

### (3) 全日制

定員減に伴う影響、部活動削減（サッカー、総合文化部美術班・家庭班・英語班）、全国大会出場（写真部、水泳（個人）、自転車競技（個人））、地域貢献活動（町災害支援トラックラッピングアート）、国際交流（ビーバートン市、海寧市）、進路状況

## 4 学校経営についての意見・助言、学級減の経緯等説明

- ・小規模校の魅力として、人数減を逆手に、近隣企業や施設での実習を増やして社会経験を積むなど、「フレキシブルに動ける社会経験」を積むことで、強みに変えられるのではないかと。

- ・地元を好きになり、将来的に町役場や地元企業でまちづくりを担う人材を育てる視点を教育の柱に据えて欲しい。

- ・地域課題の解決やまちづくりに貢献できる自在を育成するため、看護医療系、保育系、公務員特化など、地域資源と直結した教育に注力しても良いのでは。

- ・部活動の「一部活一ボランティア」や保健委員会の活動を、単なるお手伝いで終わらせず、活動の振り返りを通じて、地域社会に対する貢献意識や問題解決能力を深める学習に繋げて欲しい。

- ・地域に必要とされる学校であり続けるための独自の魅力づくりが必要。
- ・競技人口の多い部活（サッカー部）の廃部は、生徒の関心が高い部分なので残念。
- ・縦割りで行われている探究活動は、社会で最も重要な「コミュニケーション能力」を育てる取組で、素晴らしい。

## 5 次回の予定

第3回 令和7年2月6日（金）午後3時からを予定。

次回会合では、生徒・保護者・教員へのアンケート結果と自己評価を踏まえた学校評価の実施への協力を依頼。